



No.71
2014.6.30

SEA NEWS



- ① … Treasure League ～第8回埼玉県第4種サッカーリーグ戦開幕
- ② … 公益財団法人埼玉県サッカー協会 功労表彰式開催
- ③ … 2013年度巡回指導実施報告・2013年度キッズリーダー養成講習会活動報告
- ④ … 大会記録●県内大会 1種 社会人・1種 大学・2種 高校
- ⑤ … 大会記録●県内大会 3種 クラブ・4種・女子 高校
- ⑥ … 大会記録●県内大会 女子 ●県外大会 1種 社会人・1種 自治体
- ⑦ … 大会記録●県外大会 1種 大学・2種 高校・4種
- ⑧ … 大会記録●県外大会 4種・女子・フットサル インフォメーション 編集後記

●発行/発行人:会長・横山謙三 編集人:荒川裕治 ●発行所/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18階☆音ビル204号室 Tel048-834-2002-Fax048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

Treasure League ～第8回埼玉県第4種サッカーリーグ戦、開幕

第8回埼玉県第4種サッカーリーグ戦が開幕しました。今年は4月19日、北足立北部の上尾市平塚サッカー場で初戦が行なわれ、会場は多くの子どもたちと保護者の皆さんで活気に溢れていました。

今回は初めて参加チームが419と大台に乗りました。またブロック(1ブロック8チームを目安)数も55と過去最大となり、より大きな大会となりました。6月に入った時点で、すでにリーグの前半を終えたブロックも多いのですが、無理のない範囲でできるだけ多くの子どもたちに「公式戦」を経験してもらいたいと願っています。もちろん、指導者の皆さんにも「勝った」「負けた」と一喜一憂するのではなく、子どもたちと共に成長して

いただきたいのです。

また今回から、11人制から8人制に移行しました。来年度からは、このリーグ戦が「全日本少年サッカー大会」の予選を兼ねることになることから、先に方式を変更したのです。ちなみに、次年度になると一つの少年団、クラブから複数チームの出場も可能となりますので、500を超えるチームが参加する巨大な大会となる予定です。

12月には、各ブロックの1位が集い「第4種選手権大会」が開催されます。トーナメントは、1年間がんばった「ご褒美」です。決勝の舞台は埼玉スタジアム。子どもたちの成長を楽しみにしています。



公益財団法人埼玉県サッカー協会 功労賞表彰式開催

去る5月30日、さいたま共済会館において「功労賞」の表彰式が開催されました。今回は長年埼玉サッカーのために貢献されてきた9人の個人の方々と、全国大会で優勝した2チームを表彰させていただきました。改めて、多くの皆さんのお力添えがあって、この埼玉のサッカーが成り立っていることを理解し、これからの発展に向けて進んでまいります。表彰された皆様、おめでとうございます。引き続き、ご活躍いただけますようお願い致します。

受賞者氏名 受賞チーム名	受賞理由
1 青木 宏 至	中学校外部指導者として県協会に大きく貢献し、0-60選抜チームの一員として全国大会出場およびブロック優勝という成績をおさめた。
2 浅見 邦 男	長年に渡り、少年連盟西部地区技術委員長を務め、4種財務委員長として現在も尚、経理面で適正な会計処理を徹底されている。
3 浦和レッドダイヤモンズ ジュニアユース	高円宮杯第25回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会優勝。
4 栗 島 敏	第4種リーグ選手権大会発足担当者として大きく貢献し、4種のみならず県協会事務局員としても職員の手本となる勤務をされた。
5 小 池 友 良	南部地区運営委員会副委員長やさいたま市サッカー協会副理事長などの役職を務め、埼玉サッカー発展に大きく貢献された。
6 江南南 サッカー少年団	バーモントカップ第23回全日本少年フットサル団大会優勝。
7 坂 村 岱 <small>たい</small>	中学校外部指導者として県協会に大きく貢献し、0-60選抜チームの監督を2年間務め、現在でも0-70でプレーを続け、他選手の見本となるプレーを継続している。
8 田 中 靖 彦	長年に渡り、少年連盟南部地区代表委員を務め、4種委員会では競技委員長として4種大会運営に大きく貢献された。
9 中 村 豊 彦	シニア60~75年代の創設推進・役員・監督等を務め、埼玉県シニア年代の発展に大いに貢献された。
10 長 瀬 欣 一	埼玉県サッカー協会評議員・理事を歴任し、長きに渡り女子委員長として埼玉県女子サッカーの発展に多大なる貢献をされた。
11 八ッ田 浩 一	深谷市サッカー協会設立に深く関わり、平成21年度から同協会会長として深谷市サッカー発展に多大なる貢献をしている。



2013年度 巡回指導実施報告

担当 大沼幸一 (FC アビリスタ)

【現状】

- 実施期間は10月1日～2月28日までの5ヵ月間(実質、11月から2月)。
- 県内小学校50校、幼稚園・保育園2園の合計52回、5,627名の子どもたちと触れ合う。
- 基本的に1回の指導には3名のスタッフを派遣。
- 東西南北の4地区に分け、スタッフの移動に負担をかけないように割り振りを行う。
- 小学校の場合、4年生以下の学年を対象に募集(小規模校からは5、6年生への依頼もあり実施)。
- スタッフの午後のスケジュールなどを考慮し、2校時～4校時の時間帯に実施(幼・保育園の場合は午前中の時間帯に実施)。
- 1クラスごとの指導が基本。大規模校や複数学年実施の場合は、2クラス合同や3クラス合同の場合もありました。

【課題】

- 年間通しての活動を行いたいと考えていますが、学校行事やカリキュラムの都合により、2学期・3学期(特に11月～2月までの4ヵ月間)に希望が集中してしまう傾向にあるので、分散化を目指したい。
- 埼玉県では幼稚園での体育専門講師の普及率(サッカーへの取り組み)が高く、巡回指導へのニーズが実際のところ低いように感じられます。

- 2013年度も同日に複数会場の開催を行えた日がありましたが、スタッフを増員できれば、3会場、4会場へと幅を広げることができると思います。
- 指導スタッフの確保と備品の拡充。
- 幼稚園・保育園へのインフォメーションが不十分であり、毎年の課題になっています。

【今後のアプローチ】

- 小学校の募集については、埼玉県教育局との連携により、対象校の選定を行っているため、毎年スムーズに決定しています。また、学校側からの巡回指導に対する評価や期待度は高く、2013年度は50校の実績を残しました。
- 今後も教育局との連携を深め、2015年度の県予算で一部負担を計上してもらえるよう依頼していきます。県が予算化することにより、巡回指導がより恒常的になることを期待しています。
- 県協会の公式ウェブサイトにてインフォメーションしていますが、今まで以上にアクセスしやすくします。
- 私立幼稚園連合会や私立保育園連盟などに募集協力を依頼します。
- キッズリーダー講習会の際、受講生に巡回指導の実施状況などをインフォメーションすることにより、実際に指導現場に立ちたい人などを発掘し、準スタッフとして子どもたちと実際に触れ合う機会を作りたいと思います(スタッフ人数の増員を図る)

2013年度 キッズリーダー養成講習会活動報告

担当 浅見 斉(坂戸幼稚園)
元井 淳(大宮アルディージャ)

■考察

①講習会参加者数が堅調

1開催あたりの参加者数は昨年度よりやや低下しているものの、12/2の単独開催を除けば適正人数での講習会が実施できていると考える。

②グループ・指導者仲間での参加者が多い

同じチームや指導者仲間など、グループでの参加者が多く、キッズリーダー養成講習会の良い意味での敷居の低さ(気軽さ)を見ることができる。また、グループでの参加者が多いため、講習会自体の雰囲気の良さにつながっていると考え。

③女性の参加者が引き続き堅調

全体の約1割が女性の参加者であり、キッズ年代の女性指導者が増えてきていると考える。

④県外からの受講者の増加

埼玉県サッカー協会公式ウェブサイトから発信があるためか、県外からの受講者の割合が増えている。

理由は明確ではないが、リフレッシュポイントの付与も関係しているのではないかと考える。

⑤今後に向けて

キッズリーダー養成講習会はまだまだニーズがあると考え。サッカー関係者以外の受講者を増やすために、幼稚園・保育園・小学校の関係者や他競技、行政(スポーツ振興課や地域の子供たちに関わる方々)への発信や女性やママさん向けの講習会も検討していいのではないかと考える。

■好事例

①開催回数の増加

大宮アルディージャ単独開催、保育園単独開催などもあり開催回数の底上げとなった。

②Jクラブの単独開催実施

大宮アルディージャ地域プロデュース部が、コーチングスタッフやフロントスタッフを対象にU-6、U-10の講習会を実施した。

③保育園の単独開催実施

県内に新設されたスポーツに特化した保育園の保育士・スタッフ

を対象にした講習会を実施した。

④通常の講習会に団体での受講が増加

通信制高校の先生と生徒、大規模保育園のスポーツ指導スタッフなどが団体で受講するケースがあった。

⑤ぴったり3時間コースの開催

これまで昼食を挟んで講義、実技を行い、受講者にとっては少々長丁場となる講習会であったが、体育館で講義と実技を同時に行う「ぴったり3時間コース」を開催し受講者の時間的負担を軽減した。

⑥キッズリーダーリフレッシュ研修会の実施

この実績報告には記載されていないが、2013年8月17日・18日にこれまで埼玉県で受講修了したキッズリーダーに告知募集をして、FIFAグラスルーツフェスティバルの運営、指導を講義と実技で実践していただくキッズリーダーリフレッシュ研修会を開催した。※リフレッシュ参加者：25名 キッズフェスティバル参加者：小学1～3年生計87名

■その他

昨年の県サッカー協会東松山サッカー場の閉鎖や、2月の大雪による川越水上公園の屋根落下等により講習会会場の確保が課題となっている。地域開催や学校、保育園へのインストラクター出向型での開催など様々なニーズに合わせる形での開催を行っていくことが必要であると考え。

開催日	開催場所	カテゴリー	受講者数
5月4日	埼玉スタジアム	U-10	26
6月15日	埼玉スタジアム	U-8	27
7月15日	国立女性教育会館	U-6	26
9月23日	国立女性教育会館	U-10	25
12月2日	与野キッズ大陸	U-6	7
12月7日	国立女性教育会館	U-8	20
1月12日	川越水上公園	U-6	19
1月18日	アルディージャ志木G	U-6	21
2月1日	川越水上公園	U-10	22
3月21日	国立女性教育会館	U-8	17
3月29日	アルディージャ高木G	U-10	23
合計 11回			233

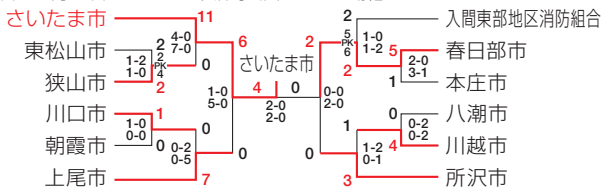
※受講者総数 1,230名(2008年度より)

大会記録 ● 県内大会

1種・社会人

第43回全国自治体職員サッカー選手権大会埼玉県予選

4月26日～5月24日 さいたま市堀崎公園サッカー場他



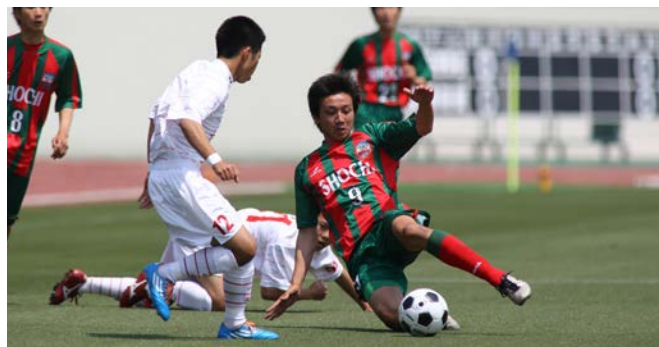
※優勝したさいたま市役所、準優勝の春日部市役所、そして3位の上尾市役所は第43回全国自治体職員サッカー選手権大会南関東地区予選会(6月14日～16日、さいたま市堀崎公園サッカー場)に出場する。



決勝 さいたま市 vs 春日部市



優勝 さいたま市



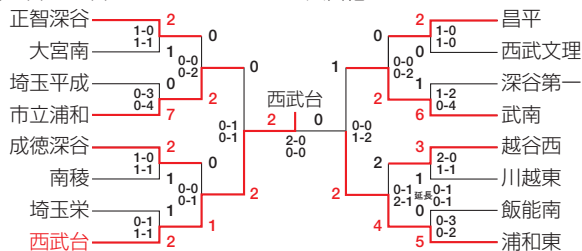
決勝 正智深谷高校 vs 浦和東高校



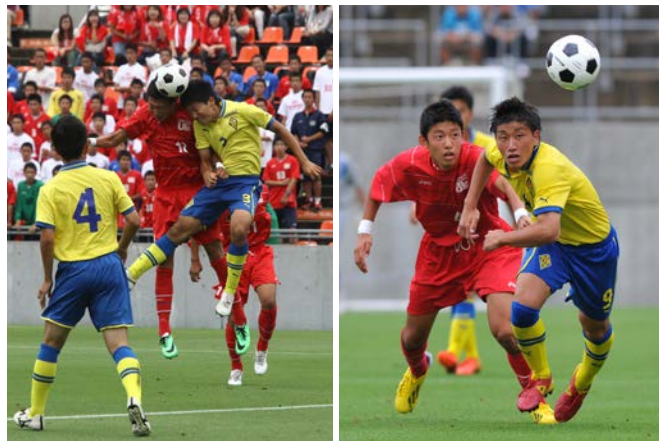
優勝 正智深谷高校

平成26年度学校総合体育大会 兼 全国高校総体サッカー大会 埼玉県予選

6月7日～22日 NACK5スタジアム大宮他



※西武台高校の優勝は2年振り6回目。総体出場は2年振り9回目。浦和東高校は3年振り8回目の出場。

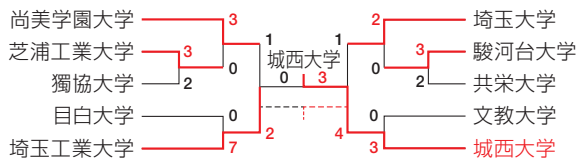


1種・大学

平成26年度アミノバイタルカップ2014

第3回関東大学サッカートーナメント大会埼玉県代表決定戦

3月2日～23日 東京国際大学サッカー場他

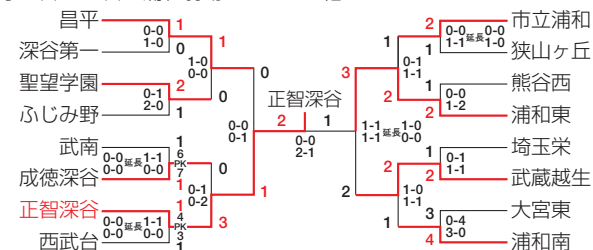


※優勝した城西大学、準優勝の埼玉工業大学、そして3位の埼玉大学は、アミノバイタルカップ2014第3回関東大学サッカートーナメント大会プレーオフに出場する。

2種・高校

平成26年度高校サッカー関東大会埼玉県予選

4月11日～26日 浦和駒場スタジアム他



※正智深谷高校は2年連続2回目の優勝(関東大会は3年連続4回目)。準優勝した浦和東高校は、関東大会に11年ぶり4回目の出場となった。



決勝 西武台高校 vs 浦和東高校



優勝 西武台高校



準優勝 浦和東高校



決勝 レジスタFC vs 大宮アルディージャ



優勝 レジスタFC

3種 クラブ

第29回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会 埼玉県予選

4月5日～5月11日 県内各地

●代表決定トーナメント 決勝

- 第1代表決定戦 カムイJr 2-1 FESTA
- 第2代表決定戦 武南Jr 4-6 1 FC川越水上公園
- 第3代表決定戦 フィグラーレ 2-3 成立ゼブラ
- 第4代表決定戦 坂戸ディプロ 2-2 東松山ペレニア (6PK5)
- 第5代表決定戦 クラブ与野 1-1 コルージャ (3PK4)
- 第6代表決定戦 プレジール 1-0 大宮FC
- 第7代表決定戦 レジェンド熊谷 2-2 HAN FC (4PK5)

※各代表が関東大会に出場する。

4種

第38回全日本少年サッカー大会埼玉県大会

6月15日～22日 埼玉スタジアム第2グラウンド

- | | | | | |
|-------------------|---|----------|----|--------------------|
| ALAD' ORO 4 | 0 | 0 | 2 | 江南南サッカー少年団 |
| 新田フットボールクラブ 0 | 0 | 0 | 1 | NEOS Football Club |
| レジスタFC 5 | 4 | レジスタFC 3 | 10 | 大宮アルディージャジュニア |
| 扇フットボールクラブ 0 | 4 | 2 | 1 | 大増サンライズフットボールクラブ |
| フットボール少年団 0 | 0 | 1 | 0 | 1FC川越水上公園 |
| サイタマジニア 3 | 5 | 0 | 1 | 浦和レッドダイヤモンズジュニア |
| フットボールクラブ 1 | 0 | 0 | 3 | FCセリエタ |
| 戸塚フットボールクラブジュニア 1 | 0 | 2 | 1 | 北坂戸サッカークラブ |
| 新座陣屋キッカーズ 1 | 0 | 0 | 0 | |
| サッカー・スポーツ少年団 1 | 0 | 0 | 0 | |
| FCアピリスタ 3 | 0 | 0 | 0 | |

※レジスタFCは2年連続2度目の優勝。

女子・高校

平成26年度学校総合体育大会埼玉県大会

4月27日～5月11日 浦和駒場スタジアム他

- | | | | | |
|--------|---|---|------|------|
| 山村学園 5 | 1 | 5 | 久喜 | |
| 浦和一女 1 | 1 | 4 | 1 | 熊谷女子 |
| 庄和 1 | 1 | 0 | 和光国際 | |
| 川口総合 5 | 2 | 1 | 2 | 花咲徳栄 |
| 南稜 5 | 3 | 5 | 埼玉平成 | |
| 狭山ヶ丘 0 | 3 | 0 | 昌平 | |
| 入間向陽 0 | 4 | 0 | 所沢 | |
| 浦和西 1 | 3 | 1 | 7 | 本庄第一 |

※浦和西高校は2年連続2回目の優勝。関東大会に出場する。



準決勝 レジスタ vs サイタマジニア



準決勝 アルディージャ vs セリエタ



決勝 浦和西高校 vs 久喜高校



第34回埼玉県女子サッカー大会 兼 皇后杯予選

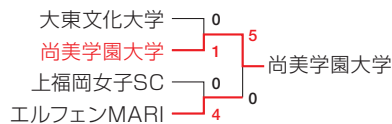
5月26日～6月23日 東京国際大学

●一般の部 予選リーグ

Aグループ		勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1位	大東文化大学	2	0	0	8	0	+8	6
2位	上福岡女子	1	0	1	3	3	±0	3
3位	SEフィリア	0	0	2	0	8	-8	0

Bグループ		勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1位	エルフェンMARI	2	0	0	8	2	+6	6
2位	尚美学園大学	1	0	1	7	3	+4	3
3位	アスパージュ	0	0	2	0	10	-10	0

●一般の部 順位決定戦



※1位チームは代表決定戦へ進出。

●代表決定戦



※優勝した尚美学園大学が関東大会に出場する。



代表決定戦 尚美学園大学 vs 浦和西高校



優勝 尚美学園大学

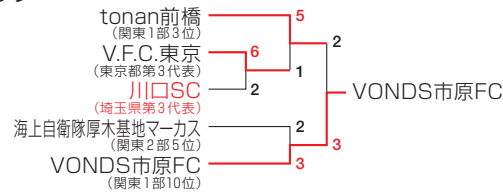
大会記録 ● 県外大会

1種・社会人

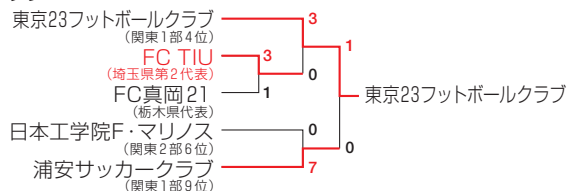
第50回平成26年度全国社会人サッカー選手権大会関東予選

6月8日～22日 関東各地

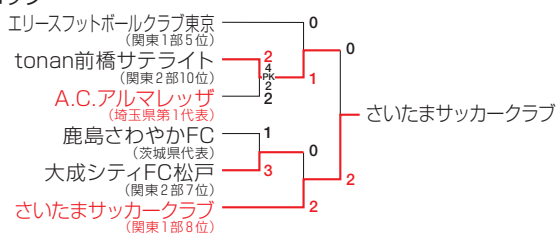
●Cブロック



●Dブロック



●Eブロック



※埼玉県からは、さいたまSCが本大会に出場する。

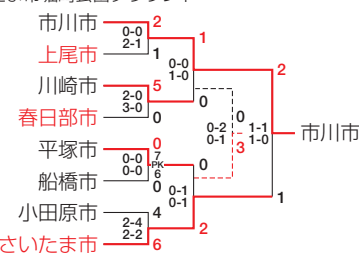


Eブロック決勝 さいたまサッカークラブ vs tonan前橋サテライト

1種・自治体

第43回全国自治体職員サッカー選手権大会南関東予選会

6月14日～16日 さいたま市堀崎公園グラウンド



※2位のさいたま市を含む上位3チームが本大会に出場する。



決勝 さいたま市 vs 市川市

1種・大学

アミノバイタルカップ2014第3回関東大学サッカートーナメント大会 プレーオフ

5月25日 明海大学他

上武大学 1-1 埼玉大学
(4PK2)

茨城大学 1-4 埼玉工業大学

城西大学 5-0 東京理科大学

※この結果、埼玉工業大学と城西大学が関東大会に出場

アミノバイタルカップ2014第3回関東大学サッカートーナメント大会 兼 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント関東予選

5月31日～6月7日 味の素フィールド西が丘他

1回戦 日本大学 0-1 東京国際大学

埼玉工業大学 1-3 国士舘大学

駒澤大学 8-0 城西大学

平成国際大学 1-0 桐蔭横浜大学

2回戦 早稲田大学 0-0 東京国際大学
(5PK4)

駒澤大学 3-0 平成国際大学

2種・高校

第57回 関東高校サッカー大会

5月31日～6月2日 保土ヶ谷サッカー場他

●Aブロック

1回戦 八千代高校 1-0 正智深谷高校

●Bブロック

1回戦 水戸啓明高校 1-2 浦和東高校

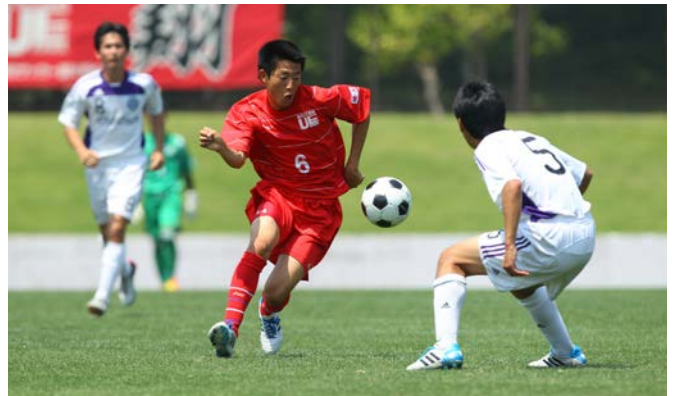
2回戦 浦和東高校 2-0 常磐高校

決勝 浦和東高校 2-1 駒沢大学高等学校

※浦和東高校が総合3位に入賞



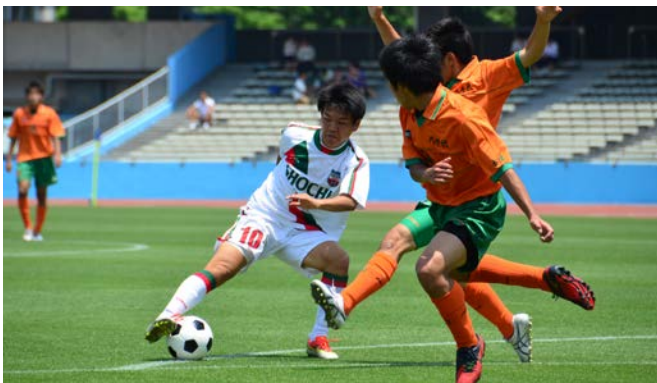
Bブロック2回戦 浦和東高校 vs 常磐高校



Bブロック決勝 浦和東高校 vs 駒沢大学高校



総合3位 浦和東高校



Aブロック1回戦 正智深谷高校 vs 八千代高校



Bブロック1回戦 浦和東高校 vs 水戸啓明高校



4種

JA全農杯チビリンピック2014 in 関東

3月22日～23日 駒沢陸上競技場他

●予選リーグ

Bグループ		勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1位	大宮アルディージャ	3	0	0	10	2	+8	9
2位	川崎フロンターレ	2	0	1	6	2	+4	6
3位	東京ヴェルディ	1	0	2	3	5	-2	3
4位	前橋ジュニア	0	0	3	0	10	-10	0

Cグループ		勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1位	レジスタFC	3	0	0	13	2	+11	9
2位	ヴァンフォーレ甲府	1	1	1	2	4	-2	4
3位	JACPA東京FC	1	0	2	2	5	-3	3
4位	高崎FC中川	0	1	2	2	8	-6	1

●1、2位グループ 決勝トーナメント

1回戦 大宮アルディージャ 3-0 Uスポーツクラブ

レジスタFC 1-0 ともぞうSC

2回戦 大宮アルディージャ 0-1 川崎フロンターレ

レジスタFC 0-0 鹿島アントラーズ
(3PK2)

決勝 川崎フロンターレ 1-2 レジスタFC
(延長)

※レジスタFCは2年ぶり2回目の優勝。準優勝の川崎フロンターレと共に、本大会に出場。

4種

JA 全農杯チビリンピック2014 全国決勝大会

5月3日～5日 日産スタジアム他

●1次リーグ

Aグループ		勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1位	レジスタFC	3	0	1	18	4	+14	9
2位	エスプリ長岡FC	3	0	1	10	9	+1	9
3位	コンサドーレ札幌U-12	2	0	2	8	9	-1	6
4位	サンフレッチェ広島FCジュニア	1	0	3	6	8	-2	3
5位	名古屋グランパスU12	1	0	3	7	19	-12	3

●決勝トーナメント

準決勝 レジスタFC 2-1 川崎フロンターレU-12

決勝 レジスタFC 1-0 BUDDY FC(福岡県)

※レジスタFCは2年ぶり2回目の優勝。

女子

プレナスなでしこリーグ2014レギュラーシリーズ

●6月29日、第11節終了現在

順位	チーム名	勝	分	負	得点	失点	差	勝点
1	浦和	8	2	1	23	7	+16	26
2	湯郷ベル	8	2	1	24	13	+11	26
3	日テレ	6	2	3	22	9	+13	20
4	I神戸	6	2	3	22	11	+11	20
5	ジェフL	6	1	4	21	17	+4	19
6	新潟L	5	2	4	19	14	+5	17
7	ベガルタ	4	2	5	11	12	-1	14
8	AS埼玉	2	1	8	17	33	-16	7
9	伊賀FC	1	3	7	13	22	-9	6
10	吉備国大	0	1	10	10	44	-34	1

平成26年度第3回関東高等学校女子サッカー大会

5月31日～6月2日 横須賀市リーフスタジアム他

1回戦 浦和西高校 2-5 日本航空高校

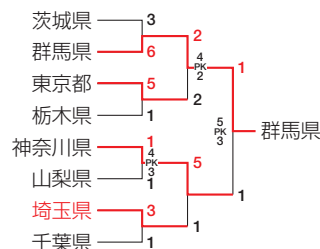


1回戦 浦和西高校 vs 日本航空高校

フットサル

第30回全国選抜フットサル関東大会

5月17日、18日 前橋市民体育館



※群馬県が優勝し、全国大会に出場する。

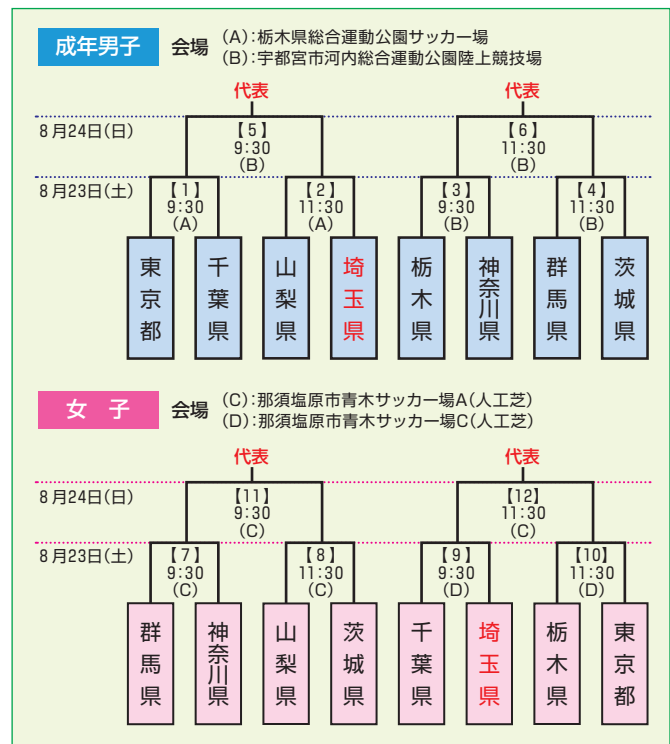
インフォメーション

●キリンチャレンジカップ2014、開催

5月27日(火)、埼玉スタジアム2002において「キリンチャレンジカップ2014」、日本代表対キプロス代表の試合が行われました。

これは、2014 FIFA ワールドカップに出場する日本代表の壮行試合として開催されました。結果は1対0(43分、内田篤人)で日本代表が勝利しました。

●平成26年度国民体育大会関東ブロック大会(栃木県)組み合わせ決定



※少年男子につきましては7月13日(日)、2014年度U-16トレンシーリーグ第3節の結果をもって組み合わせが決定となります。

編集後記

●ワールドカップがサッカー界ではひとつの区切りとなりますが、育成年代を関東で過ごした選手は日本代表に何人……少しさみしい感じです。(坂庭)

●自宅で使用しているカレンダーに『江戸しぐさ』が書いてあります。「傘かじげ」……雨の日に互いの傘を外側に傾け、ぬれないようにすれ違うこと。梅雨時期、大事ですよね!(こいち)

●国立競技場を見届けに数年振りに千駄ヶ谷へ! 最初で最後となる芝をしっかりと踏み締めて……。サッカーだけでなくいろいろな記録や軌跡が残ったピッチには、本当に多くの人が溢っていました。(かのう)

●夏本番に向けて徐々に髪を短くしました! 短いのが似合わないのは分かっているものの勢いでやっちゃいました! 男はやっぱり短いのが一番ですね(笑・佐々木)

●発行が大幅に遅れてしまい、申し訳ありませんでした。心からお詫びを申し上げます。

さて、日本代表にとってのブラジルワールドカップが終わりました。現地、またテレビで観戦された皆さんには、それぞれ思うところがあるのではないのでしょうか。日本の将来を託せる素材は、皆さんの目の前にいるのかも知れません。目の前にいる子どもたちに引き続きいい指導をお願いします。(荒川)